

JWNET Web方式 セキュリティ強化に伴う TLS1.2 以上での接続について

暗号化通信においてはかねてより TLS1.1、TLS1.0 及び SSL3.0 以前のプロトコルでの接続に対し脆弱性が指摘されているところです。この度、JWNET ではセキュリティ強化のため、**2027年1月1日以降の接続を TLS1.2 以上のみ可能**といたしますので、TLS1.2 未対応の場合 JWNET への接続は不可能となります。

つきましては、以下の手順を参考いただき TLS1.2 以上での接続が有効になっていることをご確認ください。

最新の OS・ブラウザを使用している場合は TLS1.2 以上での接続が既に有効になっています。以下に該当する方は有効になっていない場合が多いので、設定内容をご確認のうえ手順に沿って TLS1.2 以上での接続の対応をお願いいたします。

- ・古い OS (Windows7 以前など) を使用している場合
- ・古いブラウザ (Internet Explorer 等) を使用している場合
- ・社内ルール等で TLS1.2 以上の接続を無効にしている場合

(参考) TLS とは

TLS (トランスポート・レイヤー・セキュリティ) とはデータを暗号化して送受信する通信手順の一つ。

< TLS1.2 での接続を有効にする手順の例 (Windows11 の場合) >

※設定変更にあたっては社内のセキュリティ担当者にもご確認ください。

① Windows の検索ボックスに「インターネットオプション」と入力する。



② 表示された「インターネットオプション」(コントロールパネル) をクリックする。



- ③ [詳細設定]タブを選択し、「TLS1.2の使用」にチェックを入れる。
「TLS1.0を使用する」及び「TLS1.1の使用」のチェックを外す。
[適用]→[OK]をクリックする。

